幼児向け性の健康教育

「いのちのお話会」とは

佐世保市では平成 18 年度から「いのちのお話会」を実施しています。
性に関する質問が多くなる「幼児期」に正しい性の知識を伝え、いのちの大切さや自分を大切な存在と認めて欲しいという思いを込めて、ボランティアスタッフと一緒に活動してきました。私たちと一緒に子どもたちにいのちの大切さを届けませんか？

◆対象◆

４歳児（年中児）・５歳児（年長児）とその保護者の皆様
（幼児期から親子で性の話、いのちの話を始めるきっかけづくりとして行っています）
市内の幼稚園・保育園・認定こども園等にご案内し、申込をお受けしています。

◆日程◆

各園から希望の日程で申込（オンライン申請）を頂き、すこやか子どもセンターで日程調整を行います。日程が決まれば、保護者の皆様に園から案内をして頂きます。
（可能であれば参観日として開催していただくことをお勧めしています。）

◆講話◆

「いのちのお話会実践スタッフ」※が園に出向き、お話しします。
（※「いのちのお話会実践スタッフ」とは、養成講座を受講されたボランティアの方です。）

◆内容◆（全部で約１時間半）

① 幼児向けにパネルシアター（約３０分）
- 男の子と女の子の体の違い・プライベートゾーンについて
- いのちの誕生と大切さについて



② 胎児人形・赤ちゃん人形の抱っこ体験（約１５分～）
（園児数によって時間の変動があります）

パネルや胎児人形を使って、幼児にも分かりやすく、目で見て触って体験しながら学べます。



＜園児からの感想＞
「赤ちゃん重たかった～。」
「赤ちゃん大きくなったね！」
「赤ちゃんがお腹の中にいたんだよ。」
「プライベートゾーンは大事なところだよね。」

③ 保護者向け講話（約 30 分）
「いのちのお話会」を子どもと一緒に聞いてもらったあと、保護者向けに講話を実施します。



＜保護者からの感想＞
「子どもからの質問にどう教えたらいいか、どう答えたらいいかと悩むところがありましたが親として勉強になることが多くありました。」
「性教育とは広い意味で自己肯定感なども含まれることがすごく勉強になりました。」
「子どもに分かりやすい内容でした。いのちの大切さは小さい頃から教えるべきなのでとてもよかったです。」

＜お問い合せ＞
佐世保市すこやか子どもセンター
子ども保健グループ　TEL 0956-25-9741

お申込みは
こちらから